

貸借対照表
平成 30年 8月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	26,745,026	42,138,558	△ 15,393,532
未収金	3,582,797	2,675,121	907,676
前払金	473,977	1,243,524	△ 769,547
立替金	1,223,664	65,647	1,158,017
流動資産合計	32,025,464	46,122,850	△ 14,097,386
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
初動支援準備資産	139,443,050	158,613,781	△ 19,170,731
現金預金	(127,446,232)	(140,989,470)	
仮払金	(11,996,818)	(17,624,311)	
特定資産合計	139,443,050	158,613,781	△ 19,170,731
(2) その他固定資産			
建物	1,050,442	1,211,581	△ 161,139
什器備品	19,396,515	2,785,629	16,610,886
建設仮勘定	0	19,998,360	△ 19,998,360
敷金	4,617,106	4,617,106	0
保証金	10,000	0	10,000
その他固定資産合計	25,074,063	28,612,676	△ 3,538,613
固定資産合計	164,517,113	187,226,457	△ 22,709,344
資産合計	196,542,577	233,349,307	△ 36,806,730
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	30,747,356	5,496,381	25,250,975
未払消費税等	766,600	15,500	751,100
預り金	246,345	0	246,345
流動負債合計	31,760,301	5,511,881	26,248,420
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	31,760,301	5,511,881	26,248,420
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
国庫補助金	107,187,431	141,943,704	△ 34,756,273
民間助成金	0	11,362,886	△ 11,362,886
受取寄付金	1,562,539	0	1,562,539
指定正味財産合計	108,749,970	153,306,590	△ 44,556,620
2. 一般正味財産	56,032,306	74,530,836	△ 18,498,530
正味財産合計	164,782,276	227,837,426	△ 63,055,150
負債及び正味財産合計	196,542,577	233,349,307	△ 36,806,730

正味財産増減計算書
平成 29年 9月 1日 から平成 30年 8月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益			
事業収益	8,734,032	0	8,734,032
受取補助金等			
受取国庫補助金	84,000,000	84,000,000	0
受取補助金等振替額	129,850,065	205,079,569	△ 75,229,504
受取寄付金			
受取寄付金	2,743,620	1,058,000	1,685,620
受取寄付金振替額	5,223,010		5,223,010
雑収益			
受取利息	46,505	177,693	△ 131,188
為替差益	0	3,553,401	△ 3,553,401
雑収益	28,100	7,733	20,367
経常収益計	230,625,332	293,876,396	△ 63,251,064
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	71,767,973	74,670,636	△ 2,902,663
臨時雇用賃金	0	28,721	△ 28,721
通勤費	896,245	1,065,838	△ 169,593
法定福利費	5,902,703	6,347,752	△ 445,049
福利厚生費	60,149	499,573	△ 439,424
旅費交通費	31,912,493	44,110,791	△ 12,198,298
通信運搬費	2,507,984	3,751,481	△ 1,243,497
減価償却費	3,541,612	2,411,279	1,130,333
消耗什器備品費	1,730,151	2,078,284	△ 348,133
消耗品費	1,048,046	2,663,027	△ 1,614,981
修繕費	4,660	470,937	△ 466,277
印刷製本費	3,987,533	5,958,773	△ 1,971,240
光熱水料費	1,211,620	1,264,094	△ 52,474
賃借料	2,695,919	457,680	2,238,239
保険料	805,827	862,581	△ 56,754
諸謝金	2,947,405	5,290,984	△ 2,343,579
租税公課	490,332	107,266	383,066
研修費	122,040	9,800	112,240
支払寄付金	12,490	224,993	△ 212,503
委託費	55,547,315	83,141,770	△ 27,594,455
支払助成金	22,730,656	17,499,525	5,231,131
会議費	4,054,118	7,361,420	△ 3,307,302
事務所家賃	8,988,615	9,354,140	△ 365,525
諸会費	30,000	30,000	0
支援物資購入費	14,331,754	38,510,929	△ 24,179,175
支払手数料	1,041,132	578,663	462,469
為替差損	1,091,772	0	1,091,772
雑費	15,444	95,835	△ 80,391
事業費計	239,475,988	308,846,772	△ 69,370,784
管理費			
給料手当	3,870,218	3,552,310	317,908
通勤費	40,993	40,398	595
法定福利費	363,264	357,103	6,161
福利厚生費	640	114	526
会議費	1,885	7,527	△ 5,642
通信運搬費	5,427	8,462	△ 3,035
減価償却費	7,001	12,007	△ 5,006
旅費交通費	9	3,005	△ 2,996
消耗品費	1,543	3,059	△ 1,516
印刷製本費	3,306	4,312	△ 1,006
光熱水料費	11,851	17,866	△ 6,015
賃借料	7,587	5,419	2,168
保険料	197	281	△ 84
租税公課	452,606	435,264	17,342
顧問料	1,573,560	1,491,480	82,080
業務委託費	711,146	710,691	455
事務所家賃	132,140	178,017	△ 45,877
支払手数料	26,395	28,938	△ 2,543
為替差損	284,521	105,120	179,401
雑費	2,065	322	1,743
管理費計	7,496,354	6,961,695	534,659
経常費用計	246,972,342	315,808,467	△ 68,836,125
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 16,347,010	△ 21,932,071	5,585,061
当期経常増減額	△ 16,347,010	△ 21,932,071	5,585,061
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
過年度国庫補助金差額損失	2,081,520	0	2,081,520
経常外費用計	2,081,520	0	2,081,520
当期経常外増減額	△ 2,081,520	0	△ 2,081,520
税引前当期一般正味財産増減額	△ 18,428,530	△ 21,932,071	3,503,541
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 18,498,530	△ 22,002,071	3,503,541
一般正味財産期首残高	74,530,836	96,532,907	△ 22,002,071
一般正味財産期末残高	56,032,306	74,530,836	△ 18,498,530

Ⅱ	指定正味財産増減の部			
	受取補助金等			
	受取国庫補助金	114,168,357	58,743,636	55,424,721
	過年度国庫補助金返還額	△ 33,097,186	0	△ 33,097,186
	受取民間助成金	2,659,735	26,734,441	△ 24,074,706
	受取補助金等計	83,730,906	85,478,077	△ 1,747,171
	受取寄付金			
	受取寄付金	6,785,549	0	6,785,549
	一般正味財産への振替額			
	一般正味財産への振替額	△ 135,073,075	△ 205,079,569	70,006,494
	当期指定正味財産増減額	△ 44,556,620	△ 119,601,492	75,044,872
	指定正味財産期首残高	153,306,590	272,908,082	△ 119,601,492
	指定正味財産期末残高	108,749,970	153,306,590	△ 44,556,620
Ⅲ	正味財産期末残高	164,782,276	227,837,426	△ 63,055,150

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針
- (1) 固定資産の減価償却の方法
- 定率法によっている。
- (2) 消費税等の会計処理
- 消費税等の会計処理は、税込経理方式によっている。
2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高
- 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
初動支援準備資産	158,613,781	154,306,721	173,477,452	139,443,050
合 計	158,613,781	154,306,721	173,477,452	139,443,050

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳
- 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
初動支援準備資産	139,443,050	108,749,970	0	30,693,080
合 計	139,443,050	108,749,970	0	30,693,080

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
- 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	1,686,580	636,138	1,050,442
什器備品	26,364,848	6,968,333	19,396,515
合 計	28,051,428	7,604,471	20,446,957

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
- 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金・助成金 国庫補助金	外務省（緊急初動支援金）	59,922,701	20,000,000	29,376,819	50,545,882	指定正味財産
	外務省（感染症対策）	23,202,479		23,202,479	0	
	外務省（フィリピン連1年次）	4,412,230		4,412,230	0	
	外務省（フィリピン連2年次）	3,208,619		3,208,619	0	
	外務省（フィリピン連3年次）		39,249,436	10,991,589	28,257,847	指定正味財産
	外務省（インドネシア連1年次）	8,888,560		8,888,560	0	
	外務省（インドネシア連2年次）	7,788,891		7,788,891	0	
	外務省（スリランカ連2年次）	6,543,812		6,543,812	0	
	外務省（スリランカ連3年次）	27,976,412		27,976,412	0	*2
	外務省（スリランカ連4年次）		907,676	907,676	0	
	外務省（パングラデーショN連1年次）	0	54,011,245	25,627,543	28,383,702	指定正味財産
	民間助成金					
	KDR（韓国）	5,013,880	159,735	5,173,615	0	
	笹川平和財団	6,349,006	2,500,000	8,849,006	0	
合 計		153,306,590	116,828,092	162,947,251	107,187,431	

- *1 フィリピン連1・2年次、インドネシア連1・2年次、スリランカ連2年次の当期減少額はいずれも補助金返還によるものである。
- *2 スリランカ連3年次の当期減少額には、事業執行による減少25,721,338円と、補助金返還による減少2,255,074円が含まれている。

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
- 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。
- (単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
目的達成による指定解除額	135,073,075
合 計	135,073,075

7. 資産除去債務に関する注記
- 当法人は、本部オフィスの不動産賃借契約に基づき、オフィスの退去時における原状回復に係る債務を有しているが、当該債務に関連する賃借資産の使用期間が明確でなく、将来本部を移転する予定もないことから、資産除去債務を合理的に見積ることができない。そのため、当該債務に見合う資産除去債務を計上していない。

法 人 名：一般社団法人 アジアパシフィックアライアンス

附 属 明 細 書

1. 重要な固定資産の明細
財務諸表に注記しているため、省略